

令和5年9月28日 佐藤

～ 普段は見るできない貴重なコレクションを間近で見るチャンス! ～

ひきふね図書館すみだゆかりの 文人コレクションを特別展示中

区立ひきふね図書館は平成25年4月の開館から今年で10年を迎えました。開館10周年のアニバーサリーイヤーとして、4月には、新日本フィルハーモニー交響楽団による館内でのミニコンサートを開催、5月には、当時の副区長を講師に招いた特別講座を実施するなど、さまざまな特別企画を実施しています。

この度、10周年記念事業の一環として、9月22日(金)から10月18日(水)までの期間限定で、通常は同館の「貴重庫」で保管されている、すみだゆかりの文人のコレクションを展示しています。

今回の展示では、幸田 露伴や幸田 文による直筆の原稿(展示期間中に幸田 文の直筆原稿は入れ替え) 芥川 龍之介が描いた水彩画、森 鷗外や吉川 英治による直筆のはがきなど、普段はなかなか目にすることができない貴重なコレクションを間近で見ることができます。

さらに、図書館に寄贈されたサイン入り本や過去に本区の図書館で講演をいただいた著名人のサイン色紙もあわせて展示していますので、それぞれの筆跡なども楽しみながら見ることができる充実した内容としています。

担当職員は「展示している直筆原稿には加除修正や校正の跡などもあり、生き活きとした文字が作家の息遣いを感じさせます。普段は公開されていない貴重なコレクションをぜひ楽しんでください。」と話します。

《概要》ひきふね図書館コレクション

開催期間：令和5年9月22日(金)～10月18日(水)

展示内容：幸田 露伴や幸田 文の直筆原稿() 芥川 龍之介が描いた水彩画、森 鷗外や吉川 英治の直筆のはがき、成島 柳北の『柳橋新誌』初版本、福井 晴敏や開高 健のサイン色紙 など

幸田 文の「直筆原稿」は期間中で入れ替えを実施(いずれの作品も「原稿の写し」は全期間展示)

前半：9月22日(金)～10月4日(水)『いり豆』

後半：10月5日(木)～10月18日(水)『雨見物』

HP(同館イベント情報)：<https://www.library.sumida.tokyo.jp/info?pid=4186>

《概要》ひきふね図書館

所在地：墨田区京島一丁目36番5号

開館時間：月曜日～土曜日9時00分～21時00分(こどもとしよしつは、9時00分～18時00分)

日曜日・祝日 9時00分～17時00分

休館日：第3木曜日・年末年始・特別整理期間

《写真》展示の様子



《お問合せ》区立ひきふね図書館 03-5655-2350

お問合せは午後5時までにご利用します。(広報広聴担当

03-5608-6220)